

# ご存知ですね？ ウィズコロナ時代に 宅配ボックスは もう必須アイテムです



## 人気設備ランキングで2022年も上位に

賃貸住宅の入居者ニーズを分析する「入居者に人気の設備ランキング2022※」が昨年10月に発表され、宅配ボックスは単身者向けで4位、ファミリー向けで6位となりました。上位という結果は何年にもわたり続いており、もはや賃貸住宅の入居者獲得に欠かせない存在になっています。

※「全国賃貸住宅新聞」による、全国の不動産会社355社にアンケート取材を実施した結果より

## 宅配便の取扱個数は7年連続で前年比増

宅配便の取扱個数(単位:百万個) 国土交通省調べ

	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度			2021年度		
	取扱 個数	取扱 個数	対前年 度比	取扱 個数	取扱 個数	対前年 度比	取扱 個数	取扱 個数	対前年 度比	取扱 個数	取扱 個数	対前年 度比	取扱 個数	取扱 個数	対前年 度比
宅配便 合計	4,251	4,307	1.3%↑	4,323	4,366	0.4%↑	4,836	4,953	11.9%↑	4,953	4,953	0.0%	4,953	4,953	2.4%↑

国土交通省が発表した「2021年度の宅配便取扱個数」の集計によると、総取扱個数は前年比2.4%増。昨年を上回り過去最高を更新しました。配送の遅延なども話題となっており、これまで以上に再配達を避ける傾向が予想されます。

## 「置き配」の活用が進む一方で、 盗難・風雨対策などへの不安が残る

### 「集合住宅の置き配」課題

- 盗難の危険
- 風雨による破損
- 防犯上の不安
- 設置の住民合意形成
- 非対面による誤配

宅配便を受け取れない人向けのサービスとして認知されてきた「置き配」。宅配ボックスの代替手段として検討する方もいますが、様々な課題も挙げられています。

## 再配達によるCO<sub>2</sub>排出量は年間25.4万トン

国土交通省は、2022年4月期のサンプル調査の結果として、宅配便の約11.7%が再配達になっていると発表。再配達のトラックから排出されるCO<sub>2</sub>の量は、年間で約25.4万トン(2020年度国交省試算)と推計されており、再配達は地球環境に対しても負荷を与えています。

出典:国土交通省ホームページ「宅配便の再配達削減に向けて」

## 大手賃貸住宅検索サイトでは 「宅配ボックス」の有無で検索できる仕様に

多くの賃貸住宅検索サイトにおいて、入居条件として「宅配ボックス」が選べる仕様に。宅配ボックス付きをウリにしている賃貸住宅も多く、もはや当たり前の設備と言えます。

## 宅配ボックス選びのポイントは？

宅配ボックスはすでに数多くのメーカーが製品を発売しています。一方で、数が多いため最適なものを選びにくくなっていることも事実です。そこで選び方のポイントとして、「長く使えること」「設置場所の選択肢が多いこと」「本体価格だけでなく工事やメンテナンスのコストなどを含めたトータルで考えること」が挙げられています。



### 宅配ボックスを選ぶ際のチェックポイント

- ✓ 壊れにくく、長く使えるか？
- ✓ 設置箇所の選択肢は多いか？
- ✓ トータルコストが優位であるか？

# 産業用キャビネットメーカーが 作る宅配ボックス「RusuPo」が アパートオーナーから 求められる理由とは？



産業用キャビネットメーカーとして100年以上  
培ってきた耐久性能を住宅用宅配ボックスにも実装

住宅関連の取引先様から、「長期使用ができる宅配ボックスが欲しい」というご要望をお聞きすることがありました。1919年の創業以来、電気設備メーカーとして歩んできたカワムラは、屋外で電気設備を収納するための頑丈なキャビネットを製造しています。

その技術と品質を活かした「宅配ボックス」ができれば、より多くの住宅関連企業様、そして入居者様に安心していただけたと考えたことから開発したのが「RusuPo」でした。



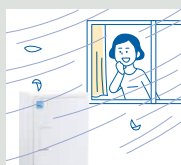
企画担当の研究開発部 河部行則氏

「防水性能」と「防錆性能」に優れており  
屋外設置＆長期利用が可能

「RusuPo」の最大の特徴は、屋根のない場所や、吹きさらしの場所に設置しても、風雨からしっかりと荷物を守る点です。その理由は、素材や設計に工夫して錆びにくく、強度と防水性能を高めたこと。さらに電気工事が不要な製品にしたことも、設置場所の自由度を高めています。だからこそ“どこにでも置ける”という評価を得ているのです。

## 安心して利用できる設計方針

**耐風性能**  
台風でも壊れない



**防水性能**  
風雨から荷物を守る



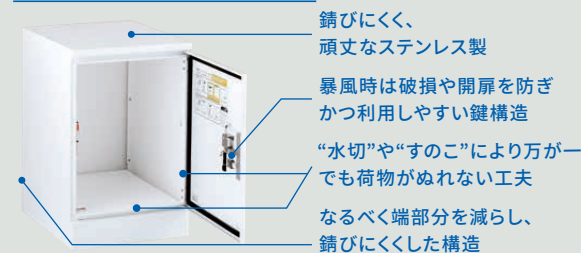
**配線工事不要**  
設置箇所の制限が少ない



これから不安視される異常気象にも  
対応するための開発を進めている

増加する台風やゲリラ豪雨、暴風や温暖化などに対応する住宅設備が求められています。屋外での長期利用を実現してきた技術が込められた「RusuPo」を、変化する気候変動にも対応した製品へと改善し続けていきます。

## 安心して利用できる構造設計



敷地内の有効スペースを活用して、  
手軽に入居者の満足度をアップさせる  
賃貸集合住宅向け宅配ボックス

「RusuPo」は、自宅に設置するものなので、身近なポストのような存在であって欲しいという願いから、見た目にも「コロッ」とした名前を付けました。発売から6年が経過し、様々な新機能を搭載したラインナップが揃っています。頑丈さ、導入しやすさといった点に加え、ボックスサイズや数が豊富にあることも評価され、認知していただけてきました。ぜひ皆さまにも、身近な存在として感じていただけたらうれしいです。



住宅設備の今と未来がわかる「Kawamura 住まいのあんしん」サイトはこちら  
[カワムラ公式サイトからもご覧いただけます]

